

令和5年度 第2学年 1学期中間テスト出題範囲表

日時	教科	範 囲	学習のポイント	その他の連絡 (提出物など)
五月十七日(水)	1校時 英語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年教科書 Unit11 p.109~121 ○ 2年教科書 Unit0 と Unit1 p.4~18 (ただし p.6 は除く) ○ 2年ジョイフルワーク p.2~22 ○ 語順トレーニング p.2~6 ○ 2年学習ノート p.4~17 	<p>2年生 ☆あらかじめ決めておいた予定や「これから～しよう」とその場で決めた予定を表現できる。</p> <p>1年生 ☆was / were を使って昨日の天気や気持ちを表現できる。</p> <p>☆あなたの過去の行動を伝えることができる。</p>	<input type="checkbox"/> 2年学習ノート <input type="checkbox"/> 2年ジョイフルワーク <input type="checkbox"/> 語順トレーニング 5月17日(水)に提出
	2校時 国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の文法 教科書 P232 資料集 P220、221 文の成分、文節と文節の関係 ○ 2年教科書 表紙裏のページ、P14~25 P28~31 ○ ワーク P4~21 ○ 漢字スキル 1~11まで 	<p>☆文法は主・述の関係、修飾、被修飾の関係、接続の関係、独立の関係、並立の関係、補助の関係について出題します。よく確認しておくこと。</p> <p>☆ワークは、答えを写すだけでなく、よく問題を読んですること。</p> <p>☆漢字は、丁寧に、採点者が読めるように楷書で大きく書くこと。</p>	<input type="checkbox"/> ②ワーク <input type="checkbox"/> ②漢字スキル 提出日、チェック日などは授業担当者から説明があります。
	3校時 社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p.134~p.136 ・ワーク p. 4 ~p. 5 ○ 歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p.120~p.131 ・ワーク p. 8 ~p.13 (3を除く) 	<p>☆小テストで出題した内容を必ず復習しておくこと。</p> <p>☆ワークを繰り返し解き直すこと。</p> <p>☆一問一答だけでなく各回のまとめでやったところを説明できるようにしておくこと。</p>	なし
五月十八日(木)	1校時 理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年の教科書 p.64~129 ○ 1年作図・計算トレーニング p.2~7 ○ やまぐちっ子学習プリント 火山と地震 ○ 2年の教科書 p.140~154 ○ 2年のカラープリント No.12 ○ ワーク p.66~69 	<p>☆1年の内容については、教科書 P.120, 121も活用するとよい。</p> <p>☆プリントを何度も解く。</p> <p>☆教科書にゴシック体の漢字で書いてある重要な語句は、漢字で書けるようにする。</p> <p>☆地震や柱状図に関する内容や、実験に関する内容等をよく学習する。</p>	<input type="checkbox"/> 2年生のワーク →テスト終了後 ・理科係は、出席番号順にし、 理科室に提出 ※2年のカラープリントと授業用ノートは授業にて点検します。
	2校時 数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p.10~33 (1章 式の計算) ・ワーク p.2~27 ○ 1年生の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の活用 (1年生のワーク p.134~143) 	<p>☆計算問題は速く正確に解けるように特訓しておくこと。</p> <p>☆等式の変形を速く正確に解けるようにしておくれ。</p> <p>☆文章問題が苦手な人は、授業で学習した内容を中心に復習しておくこと。空欄を埋める問題も出題するので諦めずに頑張ること。</p> <p>☆授業で学習した問題とワークの問題を中心に学習し、解けない問題を何度も解き直すこと。</p>	<input type="checkbox"/> テスト勉強自学ノート 8ページ以上 ※テスト終了後、数学係が出席番号順に回収し、名簿にチェックしてから職員室前の長机に提出 ※教科書をきれいにまとめたり、すでにできる問題でなく、間違えた問題、理解できていない問題を何度も繰り返すことで力がつきます。最後まで諦めずに頑張ってください。